

弥生時代の竪穴建物を発見！



弥生時代の竪穴建物（白線内） 南東から撮影

空畑遺跡は縄文時代前期の遺跡としてこれまで調査を進めてきましたが、今回初めて他の時代の遺構を確認しました。

確認できたのは弥生時代の竪穴建物（3.5m×4.0mの方形）です。。

この地域では、縄文時代前期の竪穴建物は円形です。ところが該当の建物跡を精査すればするほど四角形になっていきました。戸惑いながらも、さらに掘削をすすめていくと、縄文時代の土器にはない特徴をもつ土器片が複数出土し、弥生時代の遺構であることが分かりました。



出土した弥生土器（破片）

弥生時代の広口壺の口縁部の破片です。形状や文様などから弥生時代中期頃のものともみられます。

このほか、この壺の体部片とみられる小片も数点出土しています。

<問い合わせ先>

〒511-0415 いなべ市北勢町東貝野454番地

三重県埋蔵文化財センター 調査研究4課 いなべ整理所 担当者：勝山孝文・松永達也

電話番号：0594-72-8955 FAX：0594-72-8970 e-mail：maibun@pref.mie.lg.jp